

# 会 議 録

## 1 会議名

平成27年度第1回八千浦区地域協議会

## 2 議題

### 【協議事項】

平成27年度地域活動支援事業について（公開）

## 3 開催日時

平成27年4月21日（火）午後6時30分から午後7時06分

## 4 開催場所

八千浦交流館はまぐみ 多目的室

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員： 仲田紀夫（会長）、白砂啓子（副会長）、可児利道、坂口晃義、  
坂詰喜範、関川信之、関川幹雄、平野一男、渡邊和子（欠席3名）

・事務局： 北部まちづくりセンター：関川センター長、荒木係長、星野主任

## 8 発言の内容

### 【関川センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

### 【仲田会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：可児委員、坂詰委員に依頼  
課題「平成27年度地域活動支援事業について」事務局に説明を求める。

### 【星野主任】

- ・資料No.1により説明

- ・提案状況について報告

**【仲田会長】**

提案状況の報告について質疑を求める。

委員の中で予定している提案もしくは提案の相談を受けているかを確認。

「はまぐみ市」について相談を受けているか確認。

**【坂詰委員】**

「はまぐみ市」については、毎年、追加募集で提案しているので、今年度も「また提案したい」という話がある。

**【仲田会長】**

採択方針についての質疑を求める。

**【関川信之委員】**

全区共通審査項目の「⑤発展性」の中で『新たな取組の視点はあるか』を重視していると聞いたが、どうなのか。

**【星野主任】**

継続団体が多いので重視してほしい。

**【仲田会長】**

「発展性」は提案書を見て審査していただきたい。

相談の段階で、事務局に「こういう視点でチェックしてほしい」という意見はあるか。

**【坂詰委員】**

私も坂口委員も消防団のOBであるが、夏季研修の件について、最初は良かったが、この補助制度がなくなっても少年消防隊はなくなる。ずっと続いていくものなので、後世に残るようなものに使っていただきたい。昨今、夏季研修も派手になり、地域活動支援事業がなくなったらどうするのか、昔に戻すのか、その時の世代の子が「良かったね」で終わるのか、という話をしている。地域活動支援事業が立ち上がった時から5年経過しているので、当然、採択方針も変わっていいと思う。その辺で事前協議が必要である。

**【坂口委員】**

私も同じ意見である。少年消防隊の補助金そのものが当たり前みたいな感じでどんどんエスカレートしてきている傾向がある。必要性和公益性の面で、補助がなければ本当に実現できないのか疑問である。ほぼ、全額負担みたいな形で申請されてきているのを、

おのずと当たり前として毎年首を傾げながら採択している。八千浦地区における「海まつり」とか「文化展」は地区全体として必要性があるものであり、そういうものを地域活動支援事業として採択していくべきである。少年消防隊も団体であり、青少年の育成と消防団活動へ理解を示すという上で確かに大切な活動だとは思いますが、佐渡への研修がなければ少年消防隊が成り立たない訳ではない。実際に少年消防隊は、3地区の子ども達だけである。八千浦地区においては、黒井から西ヶ窪浜まで5つの地区があるので、小学校や中学校で、少年消防隊が主体となったような形でいろいろな訓練活動とか、そういうものに目を向けてもらえばいいと思う。そういった活動をしないでも、皆さんの賛同があれば、補助をして大いにやっていただきたいと思うが、やはり、個々の消防団としての活動内容への補助というのは、採択方針をある程度見直さなければならない時が来たのではないかと思うが、どうか。

**【平野委員】**

佐渡に拘らなくても、笹ヶ峰など近場でも訓練はできる。バスで行けば料金も掛からない。西ヶ窪浜の少年消防隊は妙高パインバレーに行っている。その辺も検討する必要がある。

**【関川信之委員】**

私もその意見と一緒に、去年もお話ししたと思うが、佐渡の訓練だけを特化するのではなくて、坂口委員が言ったように、1年を通じたの行事の中で佐渡もありと思う。前にも話したが、少年消防隊は少年しかいない。そうすると、佐渡は密接な関係もあるからそれはいいとしても、地域の中で女の子を入れた訓練とか、1年を通じた中でやるのはいいけど、特化してやっていくのは、これからは難しいのではないかと思う。

**【坂詰委員】**

今、関川信之委員も言われましたが、現分団長には「分団が中心になって、八千浦の小学5年生、6年生を対象にしたものを事業化して申請したらどうか」という提案をした。出ていない所を見るとなかなか難しいのではないか。

**【白砂啓子副会長】**

八千浦地区全部でやれるようなものになればいい。

**【仲田会長】**

事務局にお願いだが、公益性とか発展性という観点で、話を聞くようにしていただきたい。前回も、ある消防部に地域を限定しているの、他から希望者が入れないという

声も聞いている。希望者があれば、地域全体に声掛けをして、新しい人を入れて、訓練して、少年消防隊を根付かせていくような視点が必要である。

事務局の意見を求める。

**【星野主任】**

今言われた委員の意見は、事務局へ相談があった時点で提案者に伝えた。提案者からは、『子どもの頃、夏季研修に参加したことが、すごくいい思い出になったので今の小学生や中学生にも同じような思いをさせてあげたい』と聞いている。先ほど、観光の部分が強いということであれば、審査の際、減額するなどの判断をしていただきたい。

**【仲田会長】**

事務局が事前相談を受けている段階の話ですので、今、各委員から出された意見を斟酌して、審査まで引き続き協議していただきたい。締め切った後に具体的に採択するかどうかは協議会で最終決定する。

8日に締め切りなので、皆さん方でいくつか予定されている部分があれば早急にお声掛けいただき、新規事業についても働き掛けをいただきたい。

- ・ 次回の協議会：5月19日（火）午後6時30分～
- ・ 事務局に連絡事項を求める。

**【星野主任】**

- ・ 視察研修について提案要請

**【仲田会長】**

「まちを元気にする事業」について質問。

**【関川センター長】**

頸城区で今年度から形になる。北部まちづくりセンターの管轄内では、直江津区で活性化のための構想を考えようという提案があり、これからワークショップを開催しようと考えている段階である。

視察研修の話で、地域の課題のために同じような課題を持っている区との意見交換会でも良い。できることがあれば何でもやりたいと思うので、御意見をいただきたい。

**【仲田会長】**

八千浦区の活性化に向けて何か良い方法がないか、地域協議会と明るい町づくり協議会で意見交換会をすることも、研修の一つとなる。

- ・ 視察研修について、次回までに検討するよう依頼

- ・会議の閉会を宣言

## 9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : [hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp](mailto:hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp)

## 10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。